

# 看護小規模多機能コープ五日市

## 2024年度第1回 介護・医療連携推進会議 議事録

開催日時：2024年6月28日(金) 13:30~14:30

出席者 利用者：A様

家族：B様、ご主人様（C様長女夫婦）、D様（E様長男）

五日市社会福祉協議会会長 新谷 益三様

広島市佐伯区観音地区民生委員・児童委員会会長 栗園 弘子様

広島市城山・五日市観音地域包括支援センター 中村 尚史様

広島中央保健生活協同組合 サロンえにし 看護師 東 祥子

広島中央保健生活協同組合 理事 小松 京子

職員：訪問看護ステーションコープ五日市 所長兼

定期巡回随時対応型訪問介護看護 生協いつかいち 24 所長 永井 恵里香

コープ五日市ヘルパーステーション 管理者 向 奈々恵

コープ五日市居宅介護支援事業所 管理者 牧野 奈緒

看護小規模多機能コープ五日市 介護支援専門員 野田 勝美

看護小規模多機能コープ五日市 所長 浴長 佐枝子

### 1. 事業運営の基本方針や理念（浴長より説明）

利用者1人ひとりの人格を尊重し、利用者の心身の状況、希望、その置かれている環境を踏まえて、通いサービス、訪問サービス（介護、看護）、宿泊サービスを柔軟に組み合わせ、生協10の基本ケア（自立支援）の考え方で支援します。また地域への参加や住民との交流を図り、地域での暮らしを支援します。

### 2. 利用状況（2024/5/1~6/22 現在）の報告

#### ・ 介護度

	介1	介2	介3	介4	介5	計
5月	6名	1名	6名	1名	1名	15名
6月	7名	2名	5名	1名	1名	17名

入院：1名（5/22~）

#### ・ 年齢

60歳~	65歳~	70歳~	75歳~	80歳~	85歳~	90歳~	95歳~
0名	1名	1名	0名	3名	6名	5名	1名

- ・ 地域：佐伯区 15名（美鈴が丘、利松、八幡、千同、坪井、屋代、三筋、三宅、五日市中央、五日市、新宮苑、楽々園）  
西区 2名（井口台、井口鈴が台）

### 3. 新規受け入れ状況

5月スタート時 13名、5月16日 2名

6月1日 1名、6月15日 1名

#### 4. 事故の発生状況

2件（現金紛失、在宅酸素療法機器操作の確認）

（現金紛失）

入院、退院、ショート利用、看多機利用と施設を行き来した際の

本人が持っている現金の残高についてのどこの施設も中身を確認していなかったため、家族からの問い合わせに返答できず、苦情となった。

基本的に現金は預からない、どうしても持ち込む場合は自己管理とする旨を再度説明、今後は利用時にしっかり説明を行う事とした。また、ヘルパーが預かり買い物をする場合も出納簿を確実に記入する事とした。

（在宅酸素療法機器操作の確認）

自宅の酸素機械から外出用のボンベに代える際、自宅機械のスイッチの切り忘れがあった。

火災原因にもなり得るので、対応者は確実にスイッチを切り確認するよう徹底した。

#### 5. 日常のサービス内容

・ 通い：5名～13名/1日

・ 訪問：3件～12件/1日

訪問看護、訪問リハビリ、訪問介護（服薬確認、掃除、洗濯、買い物、食事確保など）

・ 宿泊：2名～5名/1日（1泊～5泊）

\*退院直後や老健退所後など不安定な方には、1～2週間連泊していただき、体調が安定したら、通いサービスや訪問サービスを組み合わせて在宅復帰につなげています。

#### 6. 利用者の健康対策に関する取り組み

生協10の基本ケアに基づいた自立支援のケアを行っています。

・ レクリエーション（歌、ゲームなど）、個別リハビリ

・ 毎日昼食前に、リハビリ職員による口腔体操20分程度

#### 7. ボランティアの受け入れ状況や行事参加など地域連携への取り組み

・ 月2回ボランティア受け入れ

認知症サポーター養成講座の受講生がお話ボランティアで来てくださっている。

・ 近隣の保育園との交流会

保育園「和ちゃん」の園児15名程度が来所、踊りや歌を披露くださり利用者様との交流を行った。

#### 8. そのほか事業所が抱える問題点や、今後の取り組みなど、事業所の実情に合わせた意見交換

・ ご家族より

B様

最近嫌がらずに行ってくれている。

「帰る帰る」もなくなってきてありがたい。

お風呂も入れるようになり助かっています。

D 様

とても助かっています。山口の下関に住んでいたの  
この辺を歩く事はないと思うが、とても歩くのが好きな人でした。  
利用を始めてから元気になったように思えます。

・地域包括支援センター 中村様

帰宅願望が少なくなってきたりと、落ち着いて過ごせるのは  
多職種が同じ事業所で取り組むサービスが提供できているからだと思われ  
認知症サポーター養成講座の受講生の受け入れなども今後もお願いしてい  
きたい。

・社会福祉協議会 新谷様

看多機は目が行き届く活動をしていると感じる。  
少人数で目が行き届く看護、介護をこれからも続けていただきたい。

・民生委員 栗園様

ここのお風呂がとてもよく、自分が利用したいと思います。  
外を歩かれる方は、交通量が多いので心配ですね。  
保育園児との交流などもとても良い取り組みと思う。  
地域の方に、いつでも行ってみてもいいよ、と伝えてあります。

・当生協理事 小松様

サロンの活動やフリースペースに是非足を運んでください。

・サロンえにし 東様

毎週水曜日にフレイル予防の体操をしています。  
サロンの活動に利用者さんも参加できるようにしていきたい  
7月の第4土曜日よりこども食堂を開始します。

職員より

- ・訪問看護の看護師が看多機の利用者さんに関わるようになり、利用者様のできなかったことができるようになったなど目の当たりにできやりのがあります。
- ・介護職員も関わりが増えるにつれ、利用者様の険しい顔が笑顔になってきて関係ができてきている。
- ・利用者様の気持ちに寄り添う支援ができてきていると思う。
- ・職員も慣れない環境での仕事で、利用者様への対応も、うまくいかなかったりしたこともあったが職員で話し合い、ケア方法を検討し、段々とスムーズに利用者様への対応ができるようになった職員も日々利用者様に教えられ学習している。
- ・2階事務所にいても、看多機の様子がわかり歌声など聞こえて新鮮な気持ちで仕事ができている。

※今後の予定

- ・7/25(木)10:15~11:15 民生委員 看多機学習会と施設見学
- ・運営推進委員会 次回予定 8月 (火) ※後日連絡